

# 2007年3月期 決算説明会

(社団法人 日本証券アナリスト協会主催)



## 東リ株式会社

2007年 6月 4日

\* 本資料に関する注意事項

本資料に記載されている東リグループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた東リグループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。

# I . 2007年3月期

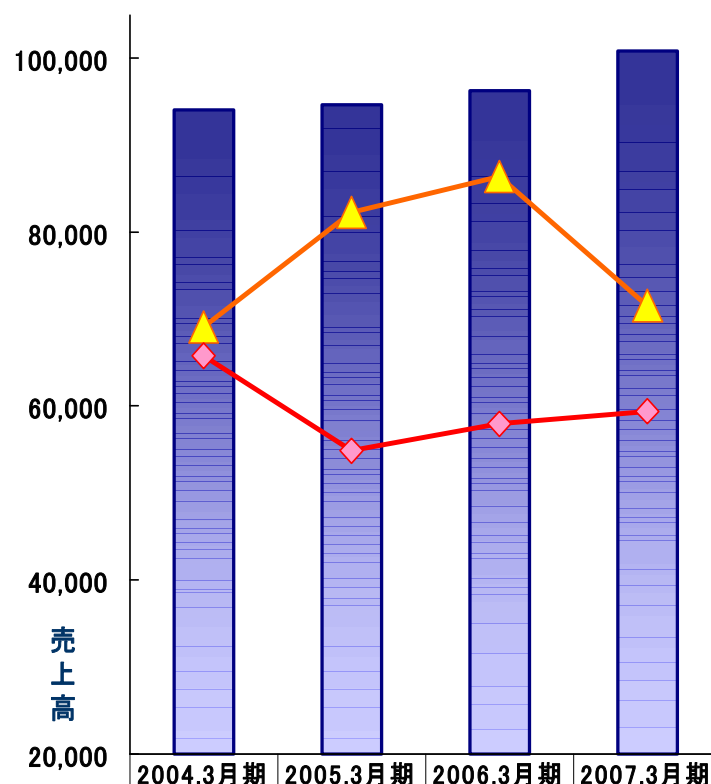
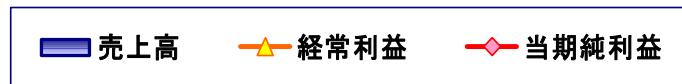
## 決算概要



# 売上高・利益の推移



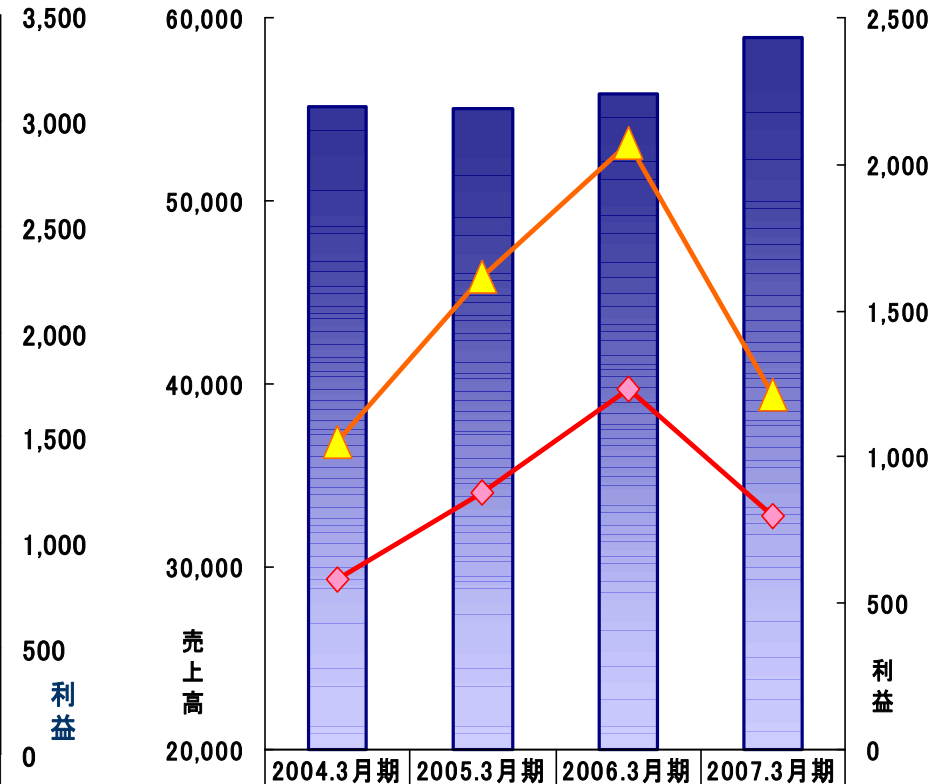
## 【 連結 】



売上高	94,072	94,699	96,375	100,936
経常利益	2,019	2,564	2,736	2,128
当期純利益	1,885	1,432	1,565	1,619

## 【 単体 】

(単位:百万円)



売上高	55,182	55,048	55,804	58,905
経常利益	1,055	1,617	2,070	1,214
当期純利益	584	877	1,231	801

# 貸借対照表概要



## 【連結】

(単位:百万円)

	2007年 3月末	2006年 3月末	増減		2007年 3月末	2006年 3月末	増減
流動資産	48,200	45,845	2,355	流動負債	37,658	35,334	2,324
				固定負債	13,035	14,790	△ 1,755
				負債合計	50,693	50,124	568
固定資産	29,833	31,692	△ 1,858	少数株主持分 (※)	209	205	4
				資本合計		27,207	—
				純資産合計	27,340	—	—
資産合計	78,034	77,537	496	負債及び純資産 合計	78,034	77,537	496

## 【資産（連結）】

2006年3月末  
との比較

- 売掛債権額の増加 +1,838
- たな卸資産の増加 +1,321
- 投資有価証券等の減少 △2,686  
(流動資産: △798 固定資産: △1,888)
- 繰延税金資産の増加 + 563

## 【負債（連結）】

- 仕入債務額の増加 +2,179
- 有利子負債残高の減少 △ 368
- 未払法人税・未払費用の減少 △ 942

## 【純資産（連結）】

- 株式評価差額の減少 △1,074  
(2006年3月末) ( 3,699)
- 利益剰余金の増加 +1,145

※2007年3月末の「少数株主持分」209百万円は、  
純資産合計に含まれます。

## 【単体】

	2007年 3月末	2006年 3月末	増減		2007年 3月末	2006年 3月末	増減
流動資産	38,913	35,884	3,028	流動負債	28,562	24,706	3,856
				固定負債	11,913	13,555	△ 1,641
固定資産	24,537	26,150	△ 1,613	負債合計	40,476	38,262	2,214
				資本合計		23,773	—
				純資産合計	22,974	—	—
資産合計	63,450	62,035	1,415	負債及び純資産 合計	63,450	62,035	1,415

# 連結キャッシュ・フロー計算書



	2007年3月期	2006年3月期	増減
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,501	3,196	△ 1,694
税金等調整前当期純利益	2,019	3,175	△ 1,155
減価償却費	1,777	1,859	△ 81
その他	△ 2,295	△ 1,838	△ 457
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 784	△ 174	△ 609
有形固定資産の取得による支出	△ 770	△ 710	△ 60
無形固定資産の取得による支出	△ 582	△ 500	△ 82
その他	569	1,036	△ 466
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,382	△ 3,092	1,710
IV 現金及び現金同等物の増加額	△ 664	△ 70	△ 593
V 現金及び現金同等物の期首残高	5,062	5,133	△ 70
VI 現金及び現金同等物の期末残高	4,398	5,062	△ 664

(単位:百万円)

## 【営業活動によるキャッシュ・フロー】

- 営業収益の増加幅が減少
- 法人税等の支払額が増加

## 【投資活動によるキャッシュ・フロー】

- 有形固定資産売却による収入が減少
- 有形固定資産取得による支出が減少

## 【財務活動によるキャッシュ・フロー】

- 短期借入金の返済額が減少
- 長期借入金の借入額が増加
- 配当金支払額の増加

# 主要項目の概要(連結)



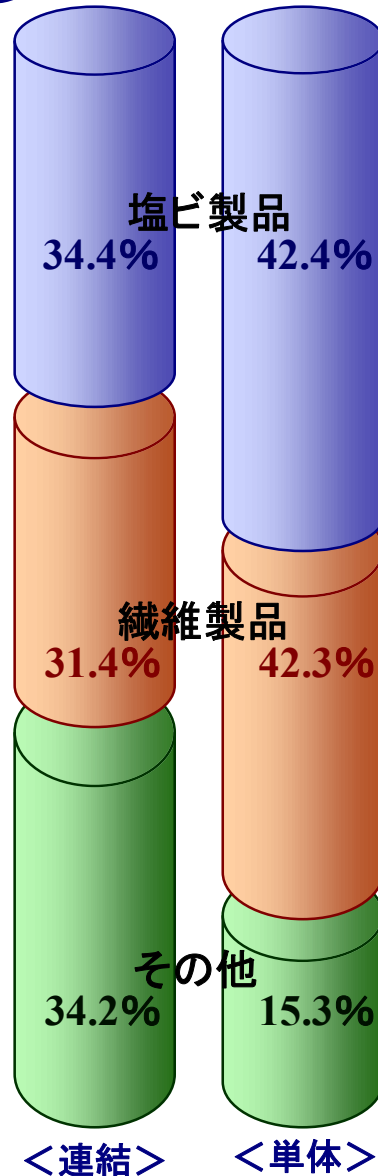
単位:百万円

	2007年3月期 (06/4 - 07/3)	2006年3月期 (05/4 - 06/3)	前年同期比 増 減
設備投資額	1,353	1,210	142
減価償却費	1,777	1,859	△ 81
研究開発費	340	358	△ 17
有利子負債残高	10,989	11,522	△ 533

# セグメント別売上構成



(2007年3月期)



### 塩ビ製品

- ◆ ビニル床タイル
- ◆ ビニル床シート
- ◆ クッションフロア



店舗用ビニル床タイル



医療・福祉施設用ビニル床シート

### 繊維製品

- ◆ タイルカーペット
- ◆ ロールカーペット
- ◆ パネルカーペット
- ◆ カーテン



タイルカーペット



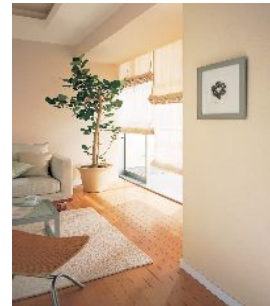
ロールカーペット



カーテン

### その他

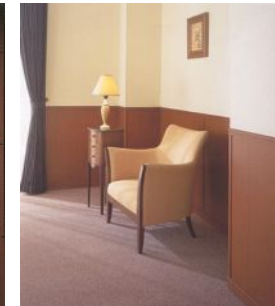
- ◆ 壁装材
- ◆ 接着剤他
- ◆ 販売会社仕入商品 (ブラインド・カーテンレール他)



壁装材



化粧仕上げ壁材



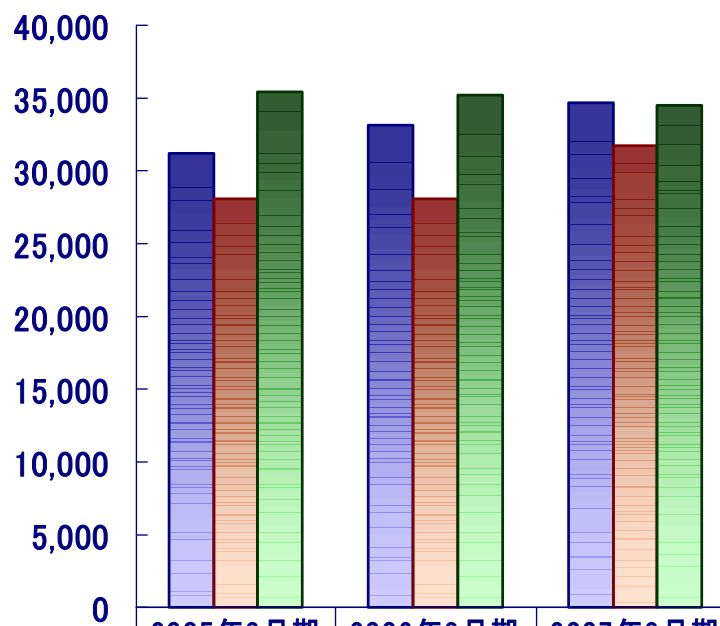
腰壁タイフ

# 連結セグメント別実績推移



## 売上高

■ 塩ビ製品事業 ■ 繊維製品事業 ■ その他事業

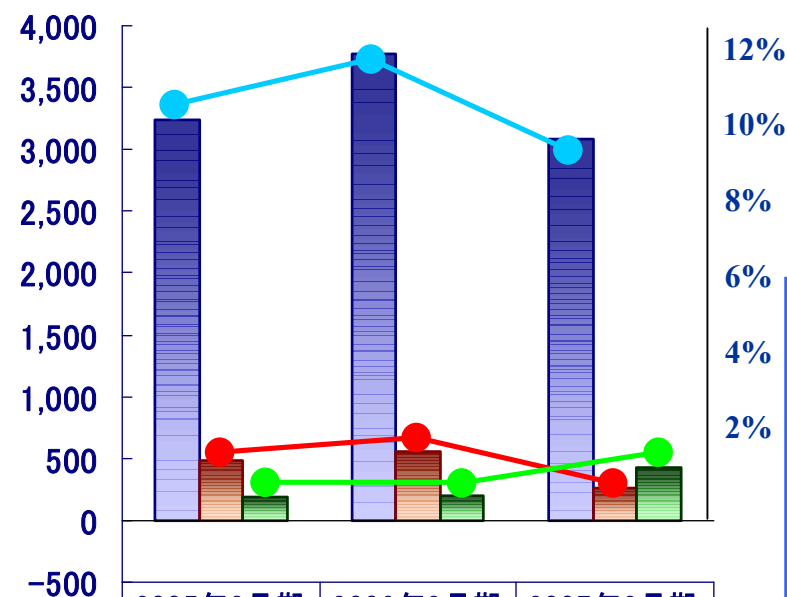


■ 塩ビ製品事業	31,202	33,164	34,684
■ 繊維製品事業	28,111	28,014	31,715
■ その他事業	35,385	35,196	34,536

## 営業利益

単位: 百万円

■ 塩ビ製品事業 ■ 繊維製品事業 ■ その他事業



■ 塩ビ製品事業	3,239	3,780	3,089
■ 繊維製品事業	481	558	254
■ その他事業	183	200	430

\* 本社共通費 1,054 1,543 1,574



- ・新千歳空港 搭乗ロビー
  - ・株式会社北海道日建設計
  - ・東京ミッドタウン
  - ・ソニーショールーム
  - ・ミッドランドスクエア
  - ・名古屋学院大学 白鳥学舎
  - ・松下プラズマディスプレイ株式会社 第4工場
  - ・福岡大学 医学部看護学科
- etc・・・

## Ⅱ. 中期経営計画『GROW UP 2008』 重点戦略の進捗状況と今後の推進策



# 『GROW UP 2008』の概要



## 【 東リ グループビジョン 】

トータルインテリアを演出する業界ナンバーワン企業グループを目指す

中期経営計画 『GROW UP 2008』 (2006年度～2008年度)

～ グループ収益力の強化を図るとともに成長モードへとシフトする ～

【経営目標】	《経営指標》	<連結>	<単体>
	売上高	1,080億円	620億円
	経常利益	50億円	40億円
	ROA (総資産経常利益率)	6.0%	6.0%

重点戦略 ①  
ものを売る力を  
強化する

重点戦略 ②  
技術開発現場力  
の向上

重点戦略 ③  
グループ経営効率  
を高める

【経営資源強化と基盤固め】

- ①人材育成・人材開発
- ②ITの利活用
- ③コーポレートガバナンス及びリスクマネジメントの強化

ものを売る力を強化する

## 【重点施策】

種蒔営業と刈取り営業の  
分業体制構築

エリア別  
アクションプログラム推進

小口チャネル攻略に向けた  
販促政策と業務効率化

## 【成果】

営業活動量の  
ボリュームアップ

種蒔営業比率の  
大幅アップ

小口向け総合  
サンプル帳発売

卸代理店向け  
サービス拡充

エリア別アクションプログラム:売上高前年比+2.4%

## 【更なる推進策としてのインフラ整備】

◆ 営業プロセスマネジメントの強化      SFAの導入(10月より)

## 技術開発現場力の向上

### 【重点施策】

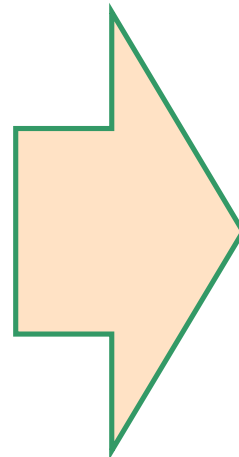
新規技術開発研究の  
重視

コア事業への経営資源集中投下  
塩ビ床材事業・タイルカーペット事業

マーケティング戦略  
構築力の強化

### 現状の課題

- ◆ 原材料の高騰
- ◆ 市場競争の激化
- ◆ 既存商品の成熟



### 今後のあるべき姿

- ◆ 既存品の時代への  
マッチング
- ◆ 真の新製品開発による  
収益構造の改善
- ◆ 『ものづくり』風土改革

### 【今後の目標】

『製造メーカー』としての強みを生かした住空間提案力のアップ

# 重点戦略テーマ③



## グループ経営効率を高める

### 【重点施策】

在庫効率の改善

グループ間接部門  
業務集約化推進

カーテン事業収益改善

新物流戦略の推進

### 【取組施策】

在庫効率改善PJでの  
問題点明確化・施策検討

東リ間接部門業務集約化

東リグループカーテン企画業務の統合

配達便・物流拠点見直し  
加工能力アップ 等 } ▲185百万円

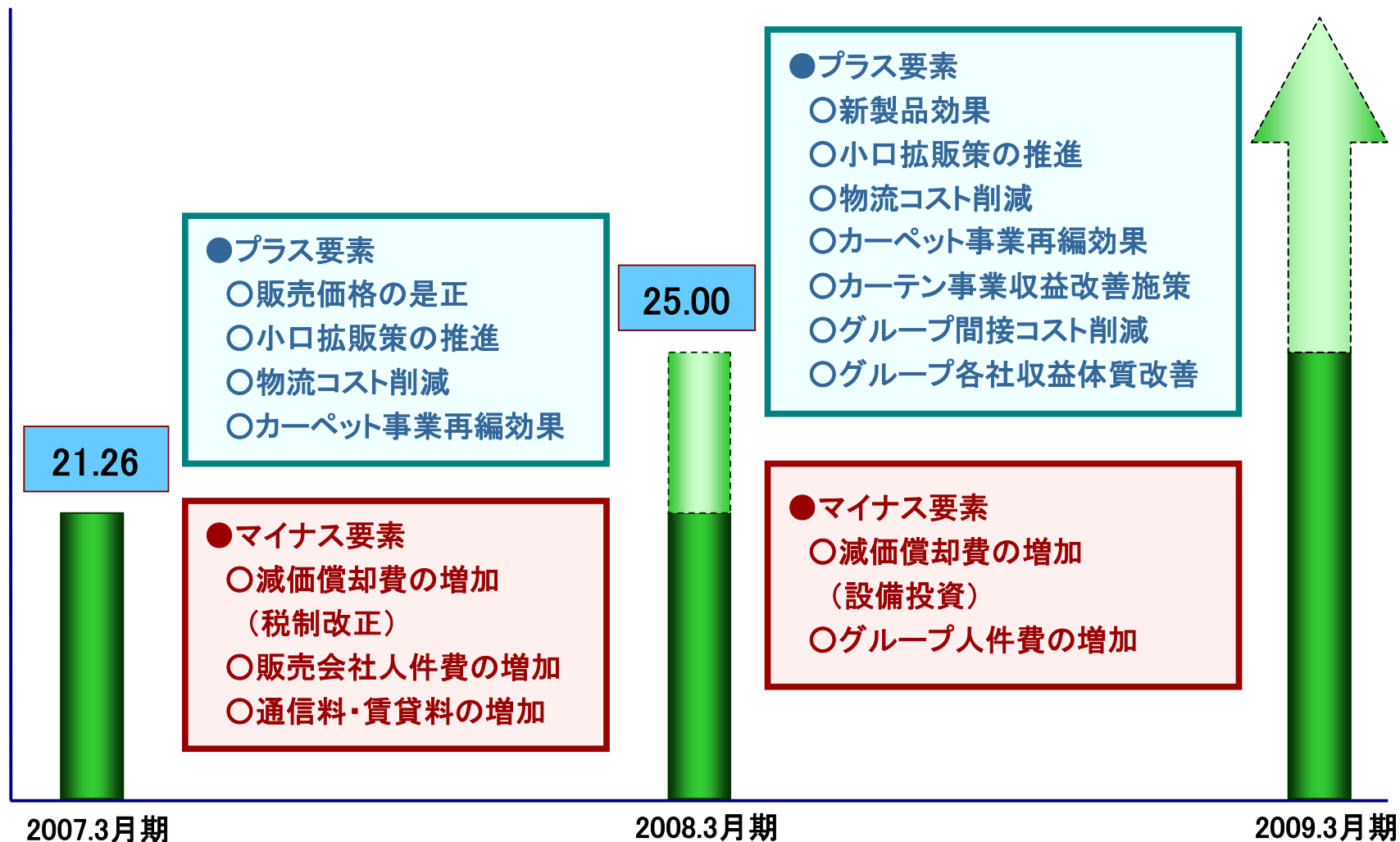
### 【今後の目標】

- ・適正在庫化・生産体制見直し等による在庫削減 → ▲370百万円(単体ベース最終年度目標)
- ・システム統合を含めたグループ間接部門の業務集約化推進
- ・カーテン中期商品戦略の基本構想をまとめる → 収益改善額: 連結ベースでの黒字化
- ・エリア別サービス向上を意識した物流ロケーション改革による効果: 88百万円

# 連結経常利益向上の為のグループ経営課題



(単位：億円)



### Ⅲ. 2007年3月期に実施した 事業再編策とその効果



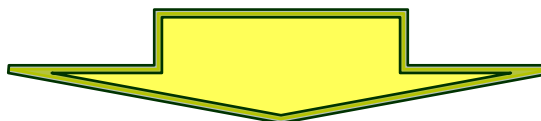


# カーペット事業の再編強化

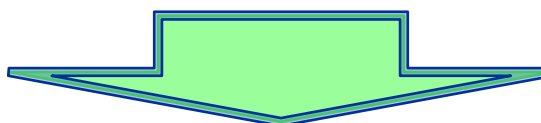


三菱レイヨン・カーペット(株)より製造・販売事業を取得  
(MRM岐阜(株)・現ダイヤ・カーペット(株))

大塚東リカーペット(株)を解散・清算  
(2007年上期 清算完了予定)

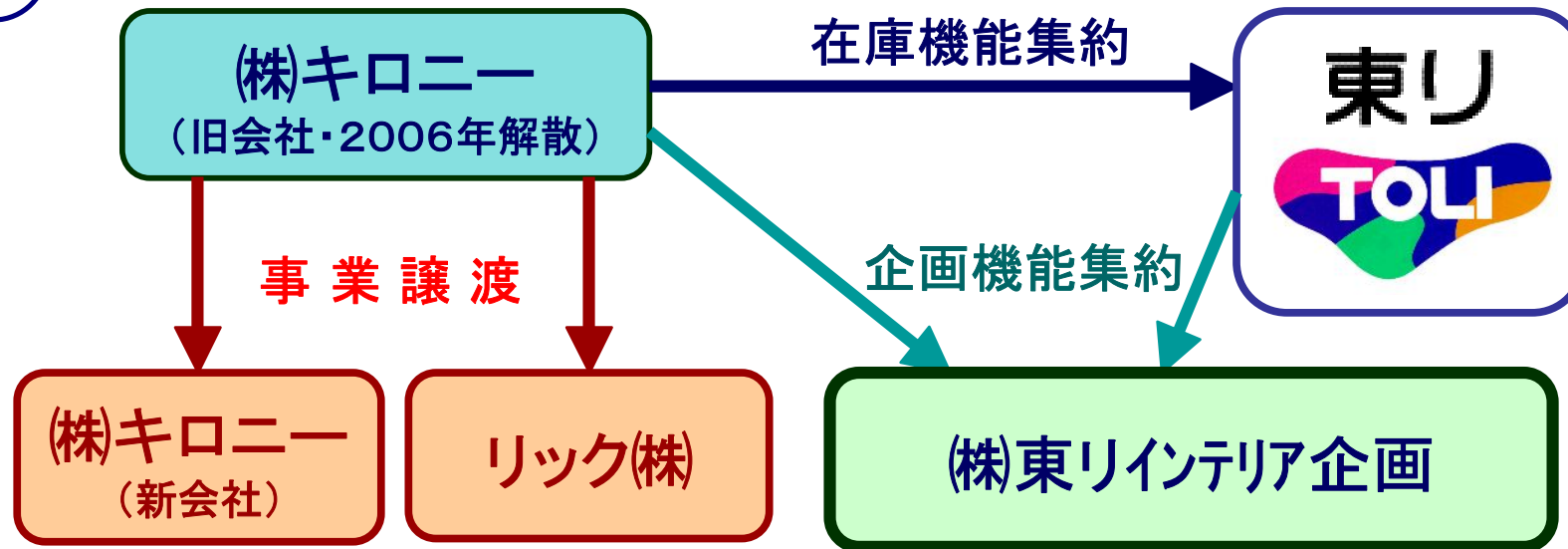


- 生産拠点再編による生産能力増強とコスト競争力向上
- 技術・設備の融合による商品開発力の更なる強化
- 旧三菱レイヨン・カーペット社の商圈獲得による市場シェアの拡大
- アイテムの見直しによる在庫効率改善



カーペット事業再編効果の早期実現

# グループカーテン事業の再構築



- グループチャネル戦略の再構築
- 東リ・キロニー両ブランドの中期商品戦略確立
- 物流・縫製体制の合理化

連結カーテン事業損益の完全黒字化

## 【目的と体制変更内容】

- |                                     |   |                                |
|-------------------------------------|---|--------------------------------|
| ● 事業横断型機能の強化<br>市場別商材の開発力強化         | ➡ | ● 事業部制の廃止<br>研究開発・生産技術・企画部門の新設 |
| ● 会計・給与管理を中心とした<br>グループ会社を含む定型業務効率化 | ➡ | ● 業務管理部の新設                     |
| ● コンプライアンス体制強化<br>内部統制システムの強化       | ➡ | ● 総合法務部の新設                     |
| ● 人材戦略の強化                           | ➡ | ● 人材開発グループの新設                  |

永続的な利益成長性を実現する為の  
グループ全体の地盤固めを行なう

# 2008年3月期業績見通し



単位:百万円

	連 結		
	2007年3月期	2008年3月期計画	(増減)
売上高	100,936	103,000	2,064
営業利益	2,200	2,600	400
経常利益	2,128	2,500	372
当期純利益	1,619	1,300	△ 319

	単 体		
	2007年3月期	2008年3月期計画	(増減)
売上高	58,906	61,500	2,594
営業利益	1,204	1,700	496
経常利益	1,214	1,600	386
当期純利益	801	900	99